

社会参加を増やす 小さな市民活動の試み

コミュニティあさか

代表：熊澤健

市民みんなでつくる優しいまち (地域と社会参加) 自分たちでもできることは

- いきいきとくらせる
- 地域共生社会

小さな地域団体 コミュニティあさか
会員は8名

主な活動は学習会の開催 (2か月に1度程度)

目的：市民の主体的な社会参加を増やす



転職や起業の失敗から、介護実務者研修を受講。 つながり(社会参加)は心身の健康と、 生活の質にとって重要

世界保健機関
(WHO)でも、心
身の健康と社会
参加には重要な
関連があると考え
られています。

厚生労働省ホームページより
WHO採択の国際生活機能分類
について

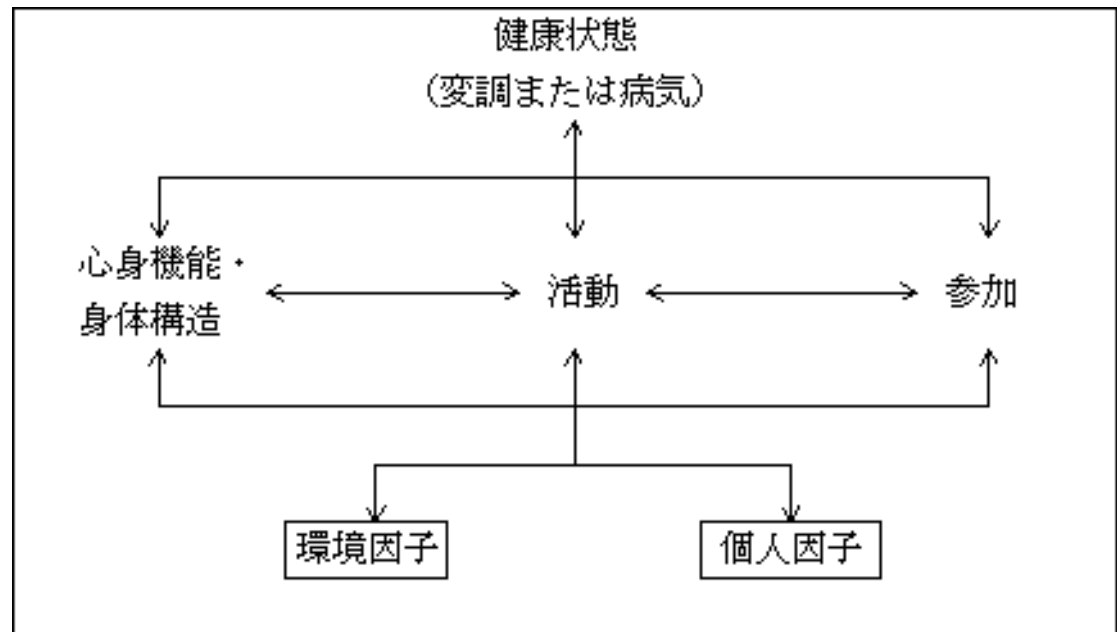
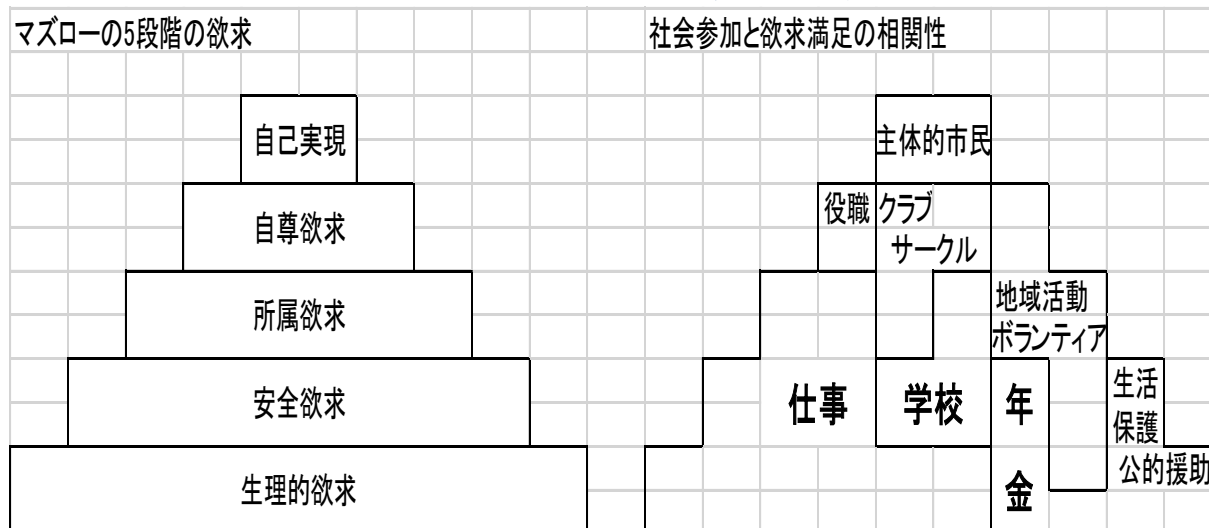


図1 ICFの構成要素間の相互作用

何をすればよいか、迷い 一新塾で自分を見つめる

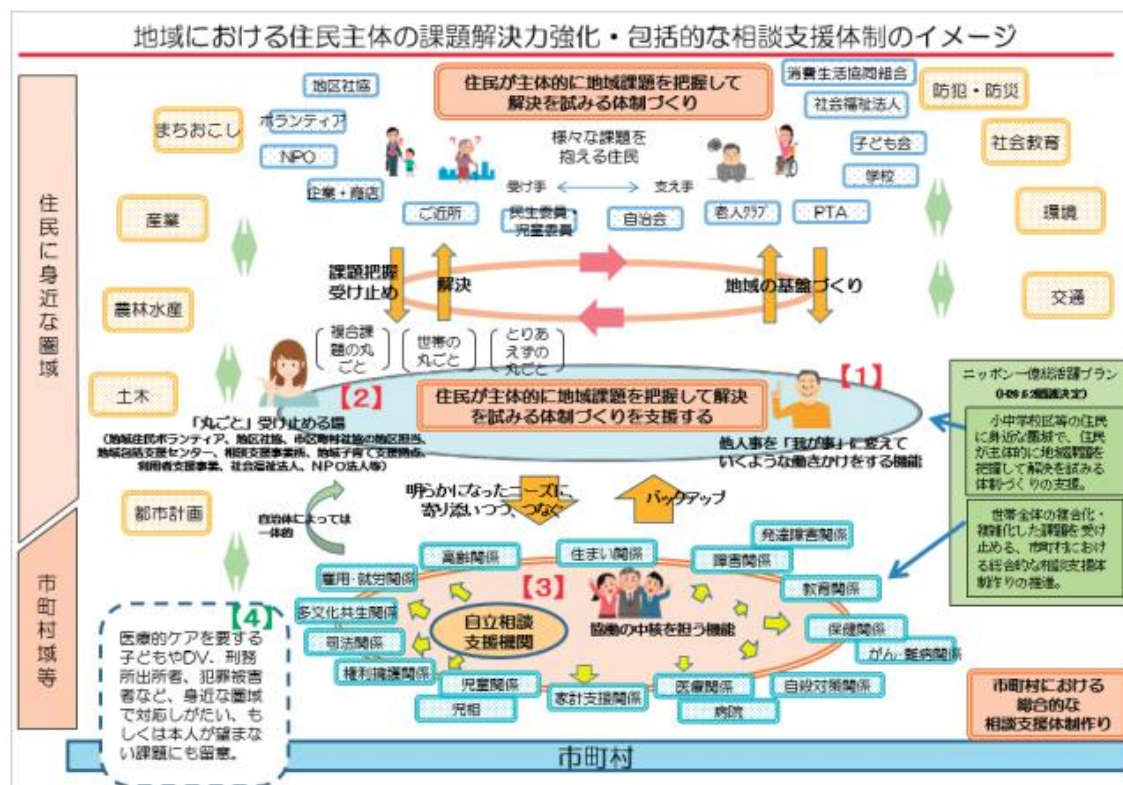
地域に飛び込み、主体的な社会参加を学ぼう
生きがい→自己実現へ

迷いながらコミュニティあさかを立ち上げ
(仕事していても)できることからはじめよう！
→最初は何もわからず地域活動を調べることから
たくさんの地域活動があった！



市民みんなで作る地域共生社会を目指して

- 見えにくい地域活動
- つなぐことを模索
- まちづくりの主役は市民。(自治会、ボランティア、PTA、NPO、地域活動団体、サークル、子供会などなど)
- 役所や社会福祉協議会、学校、施設、事業者(会社や商店)との連携も大切
- できることを模索して
子どもの未来アクション学習会にたどりつく



厚生労働省作成資料

社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉計画の
策定・改定ガイドブックより

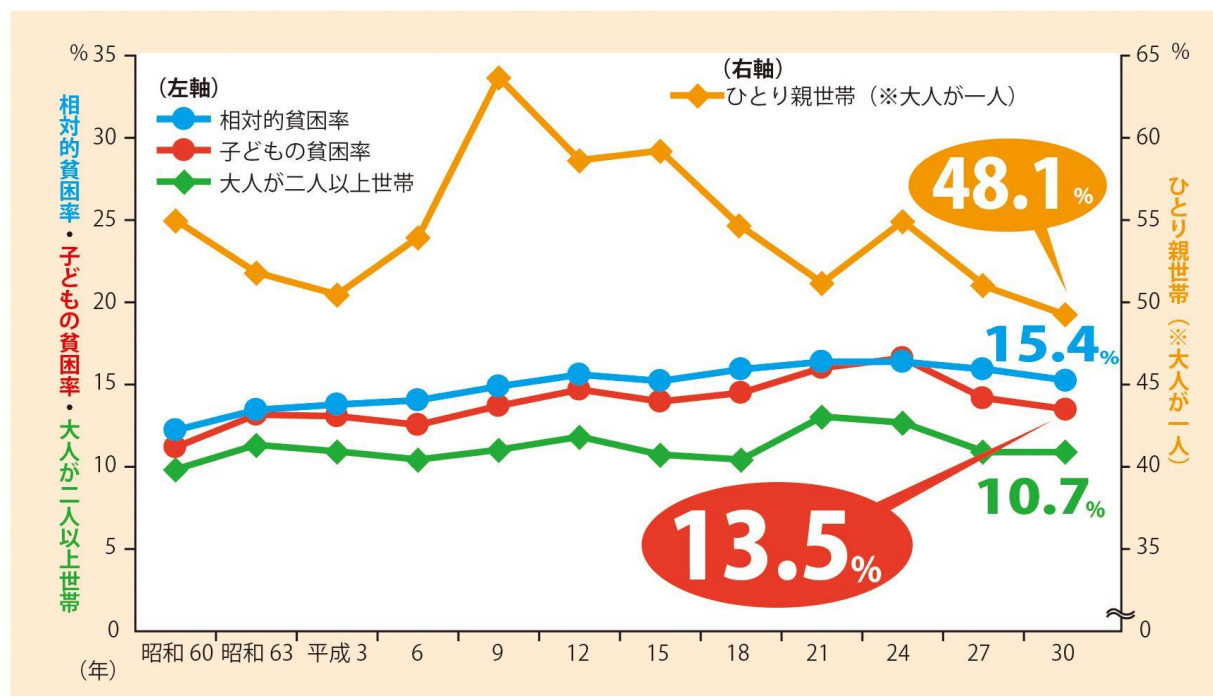
子どもの未来アクションについて



貧困をはじめとする子どもの問題を
社会の問題としてとらえ
学び、考えることから
共感の輪を広げていく運動です。

見ようとしなくては見えない、子どもの貧困

7人に1人が貧困
子どもの貧困率13.5%



令和元年 国民生活基礎調査より作成

貧困が子供に与える影響

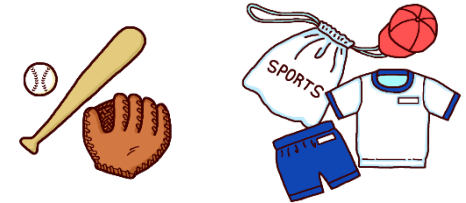
7人の子どもがいれば、
そのうち1人が、貧困状態です。

……と、いわれても、私の周りには、
そんな子はいないと思うけど……。

見ようとしなくては
見えない
現代の子どもの貧困

相対的貧困

平均的な家庭の子どもなら
あたりまえの環境や体験が
経済的な貧しさから
与えられていない状態



貧困の連鎖

貧困が子どもたちに与える影響

■子どもの貧困は「貧困の連鎖」を生み出します



出典:「子どもの貧困ハンドブック」かもがわ出版刊より



4. 貧困の連鎖

子どもの問題

それは

大人の問題

社会の問題



子どもは「生まれてくる環境」を選べません

子どもの貧困は「貧困の連鎖」を生み出します

「よりよい社会」を子どもたちに渡すのは、大人の役割です

5.子どもに寄り添う市民活動

子どもに寄り添う、市民活動が広がっています

子ども食堂

フードバンク

学習支援

プレーパーク

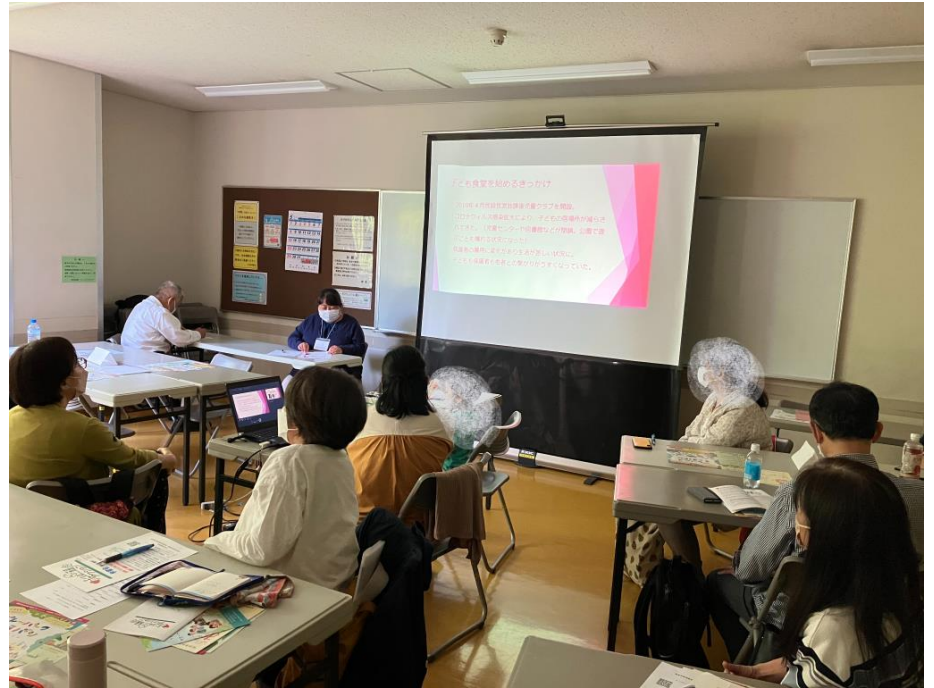
いろいろ



子どもの未来アクション学習会では 様々な団体の地域活動をご紹介します

これからたくさんの地域
活動を紹介していきます。

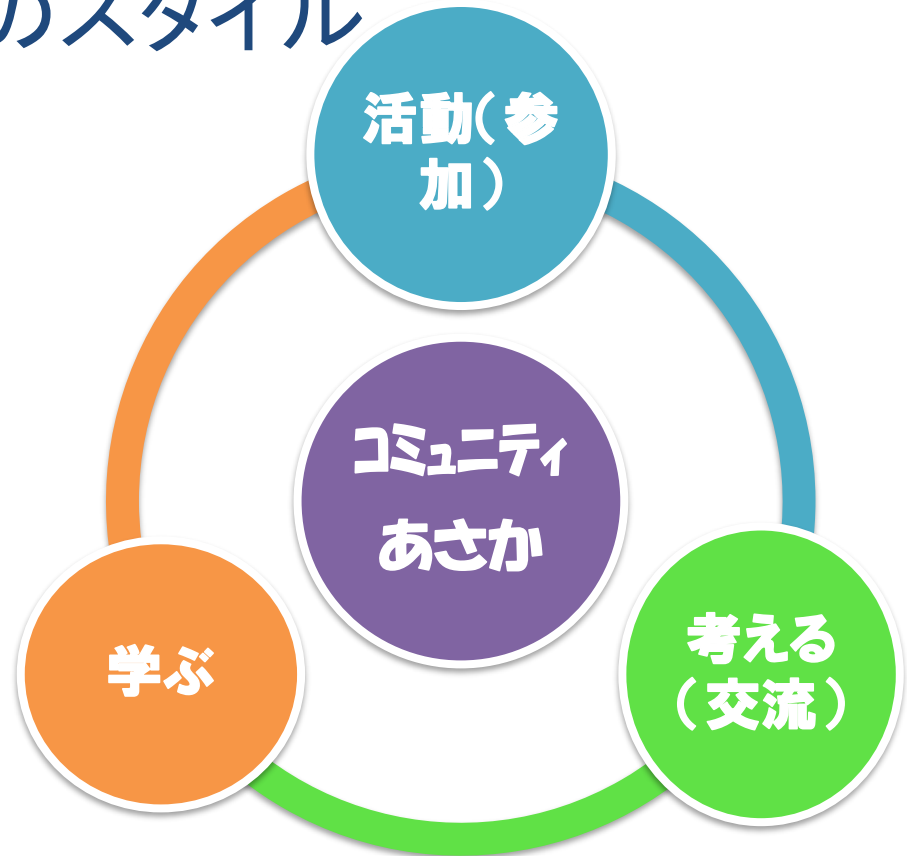
今までご紹介した活動
十文字学園女子大学
(フードパントリー・プレー
パーク)
学用品リサイクル
こども食堂(めだか食堂・わ
和輪の会)など



活動(参加)と学びと考えるの循環 学習会のスタイル

今もまだわからないことだらけ

- たくさんの地域活動を紹介しよう。
- 地域について一緒に学ぼう。
- 交流しながらみんなで一緒に考えるディスカッション。



社会の持続的発展のために

地域活動は、SDGs
の目標にかかわる
活動が多くあります。
(子供、人権、貧困、
環境、協働など)
今も未来も暮らしや
すい社会が発展し
ていくために地域活
動は不可欠です。



小さな地域活動団体でもできること

- 誰もが生き生きと暮らせるやさしいまち
=「共生社会」とは
- 誰もが参加できる
市民の主体的参加
によるまちづくり
- 安心できる居場所
づくり



一緒に考えてほしい